

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年5月1日

事業所名 児童デイサービスまちまち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60	40	利用する人数や特性等を話し合い、室内の配置を変えたりして工夫しています	
	2	職員の配置数は適切である	60	40	保育士、作業療法士精神保健福祉士等、専門性をもったスタッフを配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	40	60	絨毯などの段差がないように努めています	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90	10	SST会議を3か月に一度行い支援の振り返りをしています	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	90	10		アンケートに基づいた会議を実施し業務改善に努めていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	90	10	年に1度行っています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	90		現在行っていないので、外部評価も取り入れていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60	40	定期的に研修を行い、支援の向上に努めています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	60	40	契約時にアセスメントシートに記入していただいています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	90		アセスメントツールを用いて課題を把握し、目標を設定していきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	90	10		会議を開き活動内容の共有をしています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	60	40	日々固定化しないよう工夫しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	40	60	担当のスタッフを決め、細かな支援を行っています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	90	10	子どもの日頃の様子を把握し目標を設定しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	90	10		日々会議を行い支援の共有ができるようにしていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60	40		子どもの様子をスタッフ同士共有ができるように努めます

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	90	10	個人の記録を毎日つけています	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	90	10	相談支援からのモニタリング時に見直しを行っています	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10	90		ガイドラインをデイ全体で把握し支援につなげていきます

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90	10	担当者を決め日頃の様子をお伝えできるようにしています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	90	10	保護者の方から行事予定の情報を頂戴しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	90	診断書などから状況把握し保護者と連絡を取りながら受け入れています	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	90	10	就学前からの新規利用の方は主に保護者の方からの情報をもとに共有しています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	60	40		移行時に支援内容や支援時の様子、特性などをまとめ情報提供していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40	60	ズームでの研修に参加しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	100		学童の先生とお話する機会を設けていきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	90		相談支援を通して、考えていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	60	40	連絡帳やLINE、送迎時に日々の支援の様子をお伝えしています	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	100		相談支援を通して、考えていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100	0	契約時に説明し問い合わせがあった時にも対応しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	90	10		必要に応じて懇談を実施していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40	60		コロナが落ち着いたら、保護者会を開催していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0	苦情があれば、マネージャー管理者を通して対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	40	60		今後会報等を発行し支援の様子や活動内容をよりわかりやすくお伝えしていきます

35	個人情報に十分注意している	100	0	個人情報の記載された書類はロッカーに入れ施錠しています。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0	視覚的ツールや連絡ノートLINEを利用して情報共有しています	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	100		見学会を実施していきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60	40	マニュアルを策定し、事業所に設置しています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40	60	年に1度避難訓練を実施しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	40	60	日頃から丁寧な支援を心掛けています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40	60		身体拘束は基本的に行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	90	10	情報を共有し、個別に対応しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0		日々の会議の中で問題点を話し合いしていきます